

## 「さがみはら SDGs パートナー」に登録されました！

相模原市では、2020年7月、SDGs 未来都市に認定され、地域課題の解決や、「誰一人取り残さない持続可能なまちづくり」を進めるため、「SDGs パートナー制度」を設け、登録されたパートナー相互の連携のもとに、SDGs の普及啓発活動に取り組んでいます。

このたび、相模原地域連合は、「SDGs パートナー」に登録され、2021年7月28日（水）に相模原市役所にて行われた「さがみはら SDGs パートナー登録証盾交付式」に、川崎晴彦議長が出席しました。



交付式では、本村相模原市長より、津久井産の木材を使用して作られた登録証盾が手渡されました。また、他に交付された紙の登録証は、津波による塩害で稲作が困難になった農地で栽培された綿（コットン）の茎から採取した繊維を原料に使用しており、東日本大震災の被災地支援につながっているとのこと。

交付式後は、市長や他のパートナーとの意見交換会が行われ、取り組み内容につい

ての紹介や今後の推進に向けての意見を交流することができました。

相模原地域連合では、SDGs の達成につながる取り組みとして、

- ①相模原市への政策・制度要求と提言の取り組み
- ②働く仲間の雇用と生活を守るための取り組み
- ③地域住民と連携した社会福祉・ボランティア活動の取り組み

を推進していくこととしています。

このパートナー登録を起点として、市や他のパートナーとの連携を深め、地域での労働運動のローカルセンターとしての役割を発揮できるよう取り組んでまいります。

